

子育て世帯に 選ばれるまちを

竹村 仁司議員



切れ目のない子育て支援を進めたい
市長



▲切れ目のない子育て支援の様子(中央保育園)

問 市のホームページ「ライフイベントから探す」の子育ての考え方は。

答 関係各課の事業や手続きなどの情報を大きく6つの項目に分けて掲載。

問 切れ目のない子育て支援が解りやすく理解できるのが理想。不妊に悩む方へのサポートは。

答 一般不妊治療費助成事業は、人工授精のほか、医療保険適用内外の不妊検査及び一般不妊治療

費の自己負担額の2分の1以内で、1年間当たり上限額10万円までを2年間助成する。

問 6歳臼歯保護育成事業の目的は。

答 年長児から小学3年生までの間に歯質を強化するといった予防処置により、永久歯全体への虫歯予防につながり、対象児が壮年期から高齢期へ成長する際の歯の喪失を防ぐことを期待する。

問 教育援助制度として就学援助費補助は。

答 就学援助は、経済的理由によって就学困難な小・中学校の保護者に対し、学用品などの必要な援助を与えることにより義務教育を円滑に実施していく、経済的負担の軽減を図り、児童・生徒の教育環境を整えるために大変有効であり、対象者への貢献度が高い制度。

なかなか見いだせない中、我々自治体としても選んでもらえるまちづくりを進めていかなければならない。しっかりと工夫をしながら、他市より優れているという部分、そして住みやすい愛西市だということのPRを今後も力を入れていかなければならない。様々な施策を今後検討しながら切れ目のない子育て支援を進めていきたい。

問 就学相談については。

答 指導主事と臨床心理士の2名が保護者と面談を行う。学校現場をよく知る指導主事の立場と心理の専門家の立場で、対象児童の就学先を検討するために必要な情報を提供し、保護者の相談に応じている。

問 子育てしやすいまち、子育て世帯に選ばれるまちを目指すにおいて、市長の見解は。

答 根本的な解決策がない。